



『ブロッケンの本のちっちゃな魔女』

アレクサンダー・リースケ／原作 静山社

家で、魔女の魔法の本を見つけたミニー。本に書いてある魔法をほとんど覚えたミニーは、ちっちゃな魔女になり…。悪魔と魔女の夜祭りでは有名なドイツのブロッケン山にすんでいる、ちっちゃな女の子ミニーの5つの物語。



『子ぎつねと音のなる石』

くすのき しげのり／作 あかね書

旅する音楽家・ジンは、ふしぎな女の子に出会い、石をわたされる。それはたたくと音のなる石「カンカン石」で…。すみきった心と心にひびく美しい音の物語。



めい さく ほん 名 作 本 だ な

『きかせたがりやの魔女』

おかだじゆん
岡田 淳／作 偕成社

たいていの小学校には、魔女や魔法使いがいるらしい。ある日、「ぼく」の前に魔女としゃべるクロツグミが現れて…。小学5年生の男の子がきかせたがりやの魔女からきいた、6人の魔女と、魔法使いの話。



©イラストわんパグ ※本の紹介は、図書館流通センター「新刊全点案内」を参考



No.23

とっておきの1冊を 見つけよう

5・6年生 王寺町立図書館
2024年 秋号

ぴっく
あっぷ!

『サラの翼』

いなほ
稲葉 なおと／著 講談社



旅は何が起きるかわからない。だから楽しいんだよ。なやみをかかえるサラと、いかげんなコウおじさん。凸凹コンビの珍道中は、予想外のトラブルとたくさんの出会いにいろどられて…。



たのしい おはなしが いっぱい



『エヴィーのひみつと消えた動物たち』

マット・ハイグ／作 ほるぶ出版



エヴィーは動物が大好き。でも、ただ動物が好きってだけじゃない。エヴィーには、特別なひみつがあって…。動物や環境問題、家族愛、やさしさ、いじめ、友情などを描いた、ちょっとハラハラ、ユーモアたっぷりの物語。

『ベビー・シッターズ・クラブ』

アン・M.マーティン／作 ポプラ社



アメリカに住む12歳のクリスティは、あるビジネスを思いつき、友だちと「ベビー・シッターズ・クラブ」を結成する。とんでもない依頼がきたり、仲間とケンカしちやったり、大変なことばかりだけど…。



『ごはん食べにおいでよ』

こてまり 小手鞠 るい／作 講談社



あたりには、焼き上がったばかりのパンの香りが満ち満ちている。パンの香りは、幸せの香りだ。パンの味は、元気のエッセンスだ。小手鞠るいによる料理×SDGsな青春小説。



『ぼくらは星を見つけた』

とちり 戸森 しるこ／著 講談社



丘の上にあるお屋敷に、住みこみの家庭教師としてやってきた岬くん。ご主人のそらさんと、10歳の星、ハウスキーパーのシドの「家族」として迎えられ、あたたかい日々を過ごす。しかし、この4人にはそれぞれ秘密があって…。

『丸天井の下の「ワーオ!」』

いまい きょうこ 今井 恭子／作 くもん出版



“元気印のマホ”が“読み書きが難しいマホ”という自分に絶望していた小六の夏。謎の美男子・正樹との出会いをきっかけに、この世で生きている存在意義を全身全霊で感じ…。



『おてんばヨリーとひげおじさん』

アニー・M.G.シュミット／作 岩波書店



今日は新しい特急列車が初めて走るお祝いの日。だが発車寸前、車掌のひげおじさんのところに小さな女の子ヨリーが「発車しちゃだめーっ!」と駆け込んできて…。

